

# もっとやってみたくなる! 特別活動

## 学級活動

目的意識をもって取り組む特別活動は、特別に楽しい活動になります!



## 児童会活動

「学ぶ意欲を引き出す学習集団」の形成を目指す小学校の特別活動  
-課題解決の過程の充実を通して-

# 1. 特別活動の目標と三つの視点とは

## 【特別活動の目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決することを通して**、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

### 【知識及び技能】

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

### 【思考力、判断力、表現力等】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

### 【学びに向かう力、人間性等】

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

小学校学習指導要領（平成29年告示）

## 【特別活動における三つの視点】

「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点は、特別活動において育成を目指す資質・能力における重要な要素であり、**学習過程においても重要な意味**をもちます。

### 人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てます。

### 社会参画

よりよい集団や社会をつくろうとする力を育てます。

### 自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てます。

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程センター 「みんなて、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」、平成31年（2019年）

三つの視点を意識して、児童が課題解決できる学習過程にしよう。



# 2. 特別活動における課題解決の過程とは

## 【本研究における特別活動の課題解決の過程】

本研究では、学級活動と児童会活動を重点的に取り組みました。その際、課題解決の過程として、「**問題の発見・確認**」「**解決方法等の話し合い**」「**解決方法の決定**」「**決めたことの実践**」「**振り返り**」を基本とした実践を行い、次の課題解決につなげるようにしました。

### 問題の発見・確認

学級や学校における生活上の諸問題から課題を見だし、議題を学級全員で決定する。課題解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えをもつ。

### 解決方法等の話し合い

よりよい生活づくりのために、取り組む内容や方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くれば合ったりしながら話し合う。

### 解決方法の決定

意見の違いや多様性を認め合い、折り合いを付けるなど集団としての考えをまとめたり決めたりして「合意形成」を図る。

### 決めたことの実践

決定したことについて、自己の役割を果たしたり、互いの良さを生かして協働したりして実践する。

### 振り返り

一連の実践の成果や課題を振り返り、結果を分析し、成長を実感したり、次の課題解決に生かしたりするなど、実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

次の課題解決へ

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編

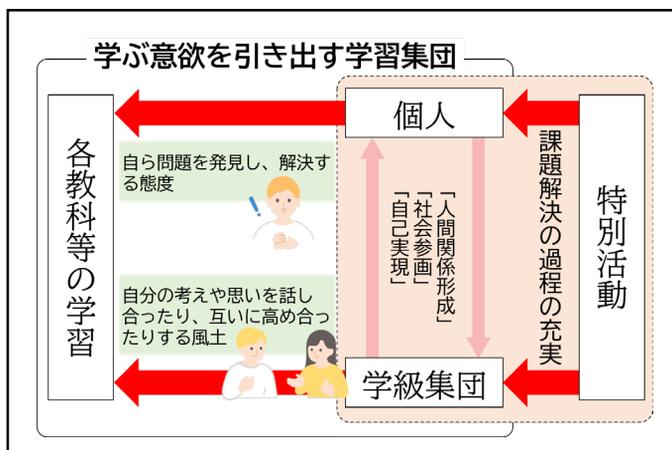
# 3. 「学ぶ意欲を引き出す学習集団」とは

## 【本研究における「学ぶ意欲を引き出す学習集団」】

特別活動において課題解決の過程の充実を図ることにより、個人が身に付ける「**自ら問題を発見し、解決する態度**」が育成され、学級集団における「**自分の考えや思いを話し合ったり、互いに高め合ったりする風土**」が醸成されると考えます。このような集団は児童が主体的に学びに向かう基盤となると考え、本研究では、「**学ぶ意欲を引き出す学習集団**」と定義します。



特別活動を通して身に付けた資質・能力や醸成された学級の風土は、各教科等の学習にも生かされるんだね。



# 4. 課題解決の過程を充実させる四つの手立て

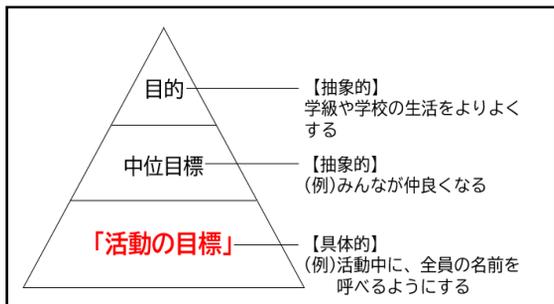
## 1 「活動の目標」の設定



主体的に特別活動に取り組んでほしい…  
そんなときは、「活動の目標」を設定しよう！

児童が主体的に特別活動に取り組むためには、児童の目的意識を明確にすることが大切です。そこで「活動の目標」を設定します。「活動の目標」とは、目的および「中位目標」を実現するために、それぞれの係や班のイベントで実現したい具体的な児童の姿や行動で表した目標です。

「活動の目標」を設定することで、児童が何のためのイベントを行うのかという目的意識が明確になり、主体的に特別活動に取り組むことができます。



【児童の目的と各目標との関係性について】

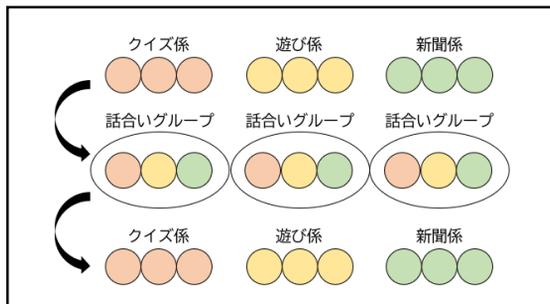
## 3 「活動交流会」の実施



活動のアイデアを、広い視野で考えてほしい…  
そんなときは、「活動交流会」を実施しよう！

活動のアイデアを広い視野で考えるには、様々な児童と交流することが大切です。そこで「活動交流会」を実施します。「活動交流会」は、児童が様々な児童と交流し、互いの考えを取り入れ合って高め合える場です。

「活動交流会」を実施することで、自分達では思いつかなかったアイデアを他者から集める機会となり、児童同士の議論の活性化につながることができます。



【係活動における話し合いの形式(例)】

## 2 「あいであつめまシート」の活用



児童が目的意識をもってイベントの計画をしてほしい…  
そんなときは、「あいであつめまシート」を活用しよう！

児童が、目的意識をもって活動の計画を立てられるようにするためには、何のためにイベントを行うのかを意識し続けることが大切です。そこで、「あいであつめまシート」を活用します。本シートは、児童が「活動の目標」を実現するためのアイデアを集めたり、計画書として活用したりするためのものです。

本シートを活用することで、児童が「活動の目標」を意識した話し合いを行えるようになり、目的意識をもって計画することができます。

### あいであつめまシート

名前( **滋賀 花子** )

1. 次回の活動の目標を書きましょう。

**みんなが活動中に、全員の名前を呼べるようにする。**

2. 次回の活動の目標を実現するために、みんなからアイデアを集めましょう。

**輪になって「他己紹介」**  
名前を呼びながら「ドッジボール」  
名前を呼びながら「こおり鬼」  
名前を使った「伝言ゲーム」

3. 集めたアイデアをくらべたり、つなげたりして、次回の活動の目標を実現するための方法を決めましょう。

日時 **4月20日 13時00分から13時20分まで**

内容 **「こおり鬼」をする。鬼がタッチするときや子がタッチするときは、必ず相手の名前を呼ぶようにする。**

役割  
司会…〇〇さん  
小道具…〇〇さん

イベントで実現したい、「具体的な参加者の姿や行動」を記入します。

「活動の目標」を実現するためのアイデアを、自分で考えたり、仲間から聞いたりにして記入します。

「活動の目標」とアイデアを照らし合わせながら、仲間と話し合ってイベントの計画を立てます。

【あいであつめまシート(例)】

## 4 「ありがとうカード」の活用



児童が活動にやりがいを感じてほしい…  
そんなときは、「ありがとうカード」を活用しよう！

児童がやりがいを感じるためには、自己有用感を得る経験が必要です。そこで、「ありがとうカード」を活用します。本カードは、児童が、互いのよさや頑張りを認め合い、自己有用感を高められるようにするためのものです。本カードを活用することで、イベントを主催した係や班の児童が、自己有用感を得たり、成果と課題を把握したりすることができます。

### ありがとうカード

( **遊び係** )さんへ ( **滋賀 太郎** )より

私たちの活動の目標は、**みんなが活動中に、全員の名前を呼べるようにする**です。

1. 今回の活動では、「活動の目標」をどれくらい実現できたと思いますか？

ありがとうメーター

0 20 40 60 80

2. 今回の活動で「活動の目標」を実現できたと思うところを記入してください。

**鬼ごっこで、相手の名前を呼んでからタッチするというルールだったので、たくさんの人の名前を呼ぶことができました。**

3. ありがとうメーターが100%にならなかった人にお聞きします。「活動の目標」が実現できていないと思う理由を教えてください。

**走ることが苦手な人たちは、物陰に隠れていたため、全員の名前を呼べていなかったと思います。**

ご協力ありがとうございました。次の活動も楽しみにしてね。

6年生より

イベントを主催する係や班であらかじめ「活動の目標」を記入しておき、イベントに参加する児童に配付します。

「活動の目標」の実現度を百分率で表現します。

「活動の目標」が実現できたと思う理由を記入します。

「ありがとうメーター」が100%に達しなかった理由を、次回につながる前向きな視点で記入します。

【ありがとうカード(例)】

すべて記入したら、イベントを主催した係や班に渡します。

# 5. 課題解決の過程を重視した特別活動の実践

## 1 「活動の目標」の設定

第5学年 学級活動  
「活動の目標」を考える場面

「今よりも男女が仲良くなりたい」という学級会の議題の提案を受け、男女が今よりも仲良くなれるように、「5-3祭り」という集会活動をするための学級会を行いました。

### 【中位目標の共有】



「男女の仲がよい」状態とは、どんな姿を想像しますか？

男女が分かれて遊ばないことだと思います。

いつでも話しかけられるような関係だと思います。

みんなの意見を総合すると、「男女問わずに遊びに誘える」状態ということですね。

「男女の仲がよい」と言っても、いろいろな考え方があるから、イメージの共有が必要だね。

### 【活動の目標の設定】

どんな工夫をすれば、男女が仲良くなれると思いますか？

男女がグループで活動できるとよいと思います。

男女が協力して取り組める内容にしたらよいと思います。

「男女が仲良くなる」ための工夫を考えることが、「活動の目標」の設定につながるんだね。

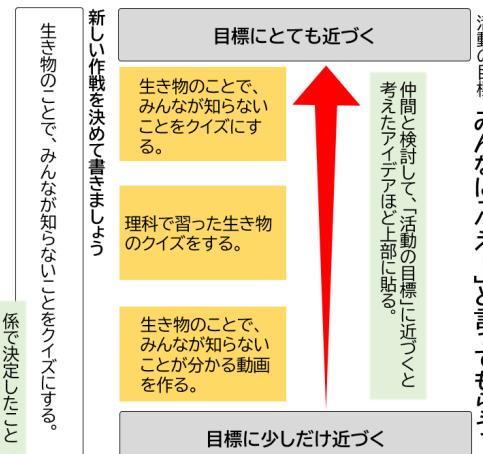
この後、男女が仲良くなるための工夫を出し合った結果、「男女が協働的に物事に取り組めるようにする」という「活動の目標」が設定されました。また、児童は、少数意見についてもすべて「男女が仲良くなる」ための工夫であると考え、それらの意見についてもできるだけイベントに取り入れていこうと考えました。こうして児童は、「5-3祭り」に必要な活動をそれぞれの班で主体的に考えることができました。

## 2 「あいであつめまシート」の活用

第3学年 学級活動  
集めたアイデアを基に、イベントの計画を立てる場面

生き物係は「みんなに『へえ!』と言ってもらう」という「活動の目標」を設定し、「あいであつめまシート」を活用してアイデアを集めました。そして「活動の目標」に近づくアイデアを基に、次に行うイベントについて話し合いました。

### 【「あいであつめまシート」を補うための工夫】



協議用シートを使ったり、掲示物を見たりしながら、「活動の目標」に近づくアイデアを考えましょう。

新しい作戦を決めて書きましょう

生き物のことで、みんなが知らないことをクイズにする。

理科で習った生き物のクイズをする。

生き物のことで、みんなが知らないことが分かる動画を作る。

目標に少しだけ近づく

目標にとっても近づく

仲間と検討して、「活動の目標」に近づく考えのアイデアを上部に貼る。

活動の目標「みんなに『へえ!』と言ってもらう」。

係で決定したこと

### 【合意形成を促す協議用シート】

集めたアイデアを比較し、合意形成を図るためのシートだね。「活動の目標」に近づくアイデアを上部に貼ることで、視覚的にも「活動の目標」に近づくアイデアが分かるね。

クイズね。みんなが知らない生き物クイズの方が、「へえ!」と言ってもらえるかもね。

理科で習った生き物クイズはどうか？

そうだね。そっちのクイズの方が上に来るね。

### 【「活動の目標」が書かれた机上の掲示物】

「活動の目標」が書かれた掲示物を机上に置くことで、いつでも「活動の目標」を意識できるようになったね。

「あいであつめまシート」と併せて、「協議用シート」や「机上の掲示物」を活用することで、児童は「活動の目標」に近づくアイデアを基に、「生き物のことでみんなが知らないことをクイズにする」というイベントを計画することができました。

## 3 「活動交流会」の実施

第4学年 学級活動  
「活動交流会」でアイデアを集める場面

学級通信係は、「学級で支え合えた経験をみんなに広める」という「活動の目標」を設定したが、学級通信に書く内容が浮かびませんでした。状況を把握した指導者は、「活動交流会」を実施することにしました。

### 【相談内容の打ち合わせ】



他の係の人に何を相談するかを係で決めましょう。

学級通信係  
最近、学校行事がなくて「支え合い」をテーマにした学級通信が書けないね。

学級通信係  
学級通信に載せることがないということが悩みだね。

他の係の児童に相談する前に、係で課題を共有しておくことで、アイデアを集める必然性が生まれるね。

### 【別の係の児童同士による話し合い】

他の係の人と交流して、「活動の目標」を実現するためのアイデアを集めましょう。

学級通信係  
最近、学校行事がなくて書くことがないんだ。

テレビ局係  
係活動での「支え合い」を記事にしたらどうか。

学級通信係  
その案いいね。さらに、「支え合い」を呼び掛ける広告を載せてみようかな。

テレビ局係  
広告ね。テレビ局係でも取り入れたいな。

自分の係では思いつかなかったアイデアを得たことで、係での議論が活性化するね。

係内での話し合いでは、「活動の目標」を実現するためのアイデアが出なかったのですが、活動交流会でたくさんのアイデアを得ることができました。また、「支え合い」を呼び掛ける広告を載せようと考えた学級通信係のアイデアを、相談を受けていたテレビ局係も取り入れたいと考えるようになり、互いに高め合う姿が見られました。

## 4 「ありがとうカード」の活用

第6学年 児童会活動  
「ありがとうカード」で活動を振り返る場面

高学年が主催した「全校遊び」終了後、全校の児童から「ありがとうカード」が届きました。この「ありがとうカード」の内容を基に、「全校遊び」の「振り返り」を行いました。

### 【自己有用感の高まりと成果の共有】



「ありがとうカード」を使って活動の振り返りをして、自分たちのよかったところと「全校遊び」の成果を見つけましょう。

「ありがとうメーター」が100%なのはうれしいね。

「活動の雰囲気を楽しませてくれた」という意見があるよ。これは成果だね。

「ありがとうカード」によるフィードバックを受けたことで、自分たちのよさや頑張りを実感できたり、成果を共有したりすることができたね。

### 【新たな課題の発見】

次は、「活動の目標」実現するための課題を見つけましょう。

説明がよく聞こえなかったようだね。

周りが盛り上がっていただけじゃない？

でも、説明するときは、静かにするように呼びかける必要があるね。

「ありがとうカード」を活用することで、新たな課題の発見につなげることができたね。

「ありがとうカード」を活用したことで、「全校遊び」を主催した児童は、自己有用感を得ることができました。また、成果と新たな課題を把握することができ、次回の「全校遊び」に生かすことができました。

## 6.実践後の児童と指導者の声

「自ら問題を発見し、解決する態度」の育成に関わって…



仲間と話し合っ、もっとクラスをよくしたいと思うようになった。



「バトンパスを上手くできれば、もっとタイムを出せようと思うから、リレーのバトンパスの練習をしたい」と自ら問題を見だし解決しようとする姿が、特別活動以外の場面でも見られるようになった。

課題解決の過程を重視した特別活動を繰り返し行ったことで、学級や学校の生活がよりよくなった経験が得られ、各教科等の学習においても、自分たちの状況に合わせて、よりよい方法で学ぼうとする児童の姿が見られるようになりました。

「自分の考えや思いを話し合ったり、互いに高め合ったりする風土」の醸成に関わって…



仲のよい人が増え、安心して発表できるようになった。



特別活動以外の場面においても、気軽に話し合ったり、相談し合ったりする児童の姿が多く見られるようになった。さらに、スピーチ等でも、自分の考えを詳しく伝えようとする姿が多く見られるようになった。

課題解決の過程を重視した特別活動において、自分の意見が大切に扱われたり、仲間の意見を大切にしたりする経験を重ねたことで、安心して自分の考えや思いを伝え合う児童の姿が見られるようになりました。

## 7.こんなことで悩んでいませんか？



係は児童がしたいと思うものを自由に出し合えばよいのでしょうか？



児童が目的意識をもって、学級に必要な係を出し合うことが大切です。

児童が係を考えるにあたって、目的を伝えることが大切です。例えば、みんなで決めた学級目標を実現するためには、どんな係が必要ですかと問いかけることで、今のクラスに必要な係について考えられるようになります。



「当番活動」と「係活動」の違いは何ですか？



学級の仕事を全員で分担し、担当する活動は当番活動と呼びます。

「当番活動」は、清掃や給食、日直など、学級になくはない仕事を全員で分担し、担当する活動です。「係活動」は、「学級や学校の生活をよりよくなる」ために児童が自主的に取り組む活動です。



学級会で決めたルールが継続しないのですが…



定期的な振り返りが大切です。

長期間行う活動は、定期的に振り返りを行い、「活動の目標」が実現できているかどうかを確認することで、成果や新たな課題を発見することができ、活動の継続につながります。さらに、「活動の目標」が「中位目標」の実現に有効であるかを検証できるようにすることも大切です。



低学年担当ですが、活動が順調な係とそうでない係があります。どうしたらよいですか？



順調な係は見守り、そうでない係には必要な支援をしましょう。

基本的には、児童の自主性を大切にします。しかし、自分達では上手く進めることが難しい係に対しては、指導者が活動内容の選択肢を用意し、児童が自分達で選んで活動を進められるようにするなど、支援が必要なこともあります。



研究内容の詳細、シート類のダウンロードはこちら

- 「令和5年度 小学校特別活動プロジェクト研究」についての研究論文
- 「あいであつめシート」
- 「ありがとうカード」



滋賀県総合教育センター

<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1705980901015/index.html>

課題解決の過程を重視した特別活動を繰り返すことで、児童の笑顔が増えていきます！

